

令和5年7月

第3号

高島市議会

真志会 広報

真志会とは

高島市議会において、澤本長俊、磯部亜希の二人で、令和4年2月に新たに結成した会派です。“志をまっすぐに”という思いで、真志（まごころ）を込めて活動していく”そんな思いで名付けました。



6月の定例会

子ども医療費の全額助成を

高校生世代

まで

拡充

R5
8/1から

物価高騰の対策として
中小企業者等へ

支援金給付

従業員10人以下

5万円

従業員11人以上

従業員数

× 5千円 ※上限
25万円

住民税非課税世帯へ

給付金 3万円

今年に入って

家計が急変した場合は
社会福祉課（市役所）へ
お問い合わせください。

申請期限
11/15

R5年 5月10日～11日

会派視察

徳島県神山町

まるごと高専・ふるさと納税

過疎地域に指定されている人口約5,000人の神山町で、2023年、まるごと高専が開校。現NPOグリーンバレーとのつながりでSansan（株）社長をはじめ、未来のシリコンバレーを目指し、起業家ネットワークにより実現。ふるさと納税の活用で学費等の費用をカバーし、経済状況に左右されない学校づくりがなされています。起業家精神をもとにした人材育成とともに、人口減少抑制や町民と若い世代との交流増加などが期待されます。

NPO グリーンバレー サテライトオフィス

地元で移住交流支援やアーティストを招聘する活動をしている団体であり、空き家活用を軸としたサテライトオフィスの誘致が行われています。希望される方にメリットもデメリットもしっかり伝えた上でマッチングが行われていました。



兵庫県加西市

デジタル田園都市国家構想

加西市の人口は約42,000人で、高島市と類似した人口規模です。市公式LINEを有効活用し、くらしにつながるデジタル窓口が進められており、チャット相談や市役所窓口でのキャッシュレス支払を実施されています。

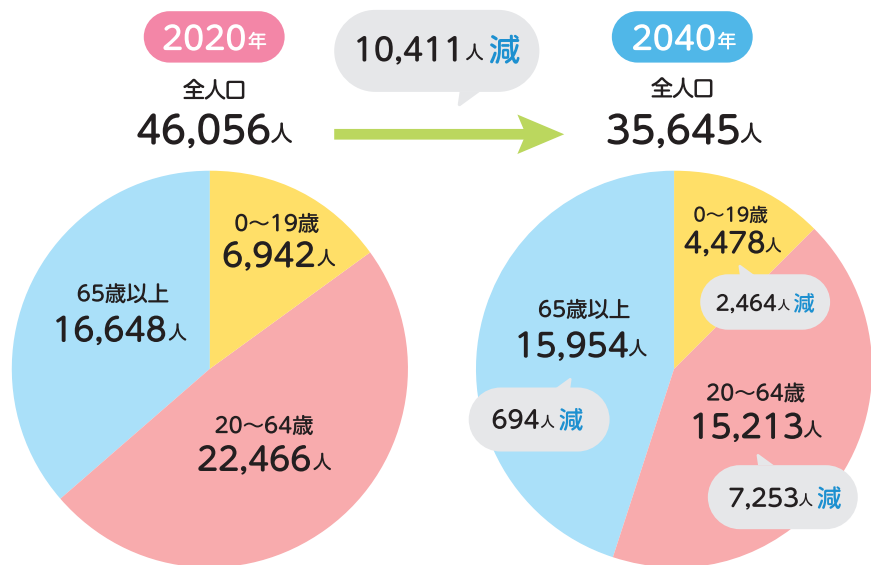
またSTEAM教育（各教科での学習を実社会での問題解決に生かしていくための教科横断的な教育）の推進やスマート図書館（電子図書の提供など）も行われています。



加西市の DX については、6月定例会での一般質問の参考にしました。神山町での学びは、今後、リビングシフト構想や企業誘致のヒントとして生かしていきます。



高島市の人口動態からみる今後の介護福祉について



出典：国勢調査，社人研推計

- 現役世代1.5人：高齢者1人 → 約20年後は1：1
- 2040年 高齢化率 45.9%（第8期介護保険事業計画より）
- 介護保険施設ベッド数 610 → 660床（来年度）現在待機170名
- 介護認定者数 約3400名うち在宅介護 約2400名
（2040年 介護認定者数 約3500人）

以上のデータから、660床の維持は困難であり、在宅介護の増加が予測されます。よって、**660床の維持というより、3500人の介護認定者をサポートできるようにすべきではないのか**、という考えとともに、20年後の介護福祉に向けての問題提起を行いました。

今後の展開

第9期介護保険事業計画の策定（国等の動向、介護人材確保定着、地域包括ケアシステムの深化）
→65歳以上の市民や介護している家族のニーズ調査、各事業所とともに**介護人材の実態調査**を行い反映

今回は介護の分野を取り上げましたが、今後の人口動態の変動は、**経済、生活、教育あらゆる分野に影響**をもたらします。人口減少を最小限に食い止める施策を進めると同時に、**減少しても持続していける体制づくり**を行っていく必要性を感じています。答えはなかなか見つかありませんが、今後も引き続き取り組んでいきます。



DX 推進施策による市民サービス向上と職員の負担軽減に向けて

市役所に行かなくても申請できる電子申請が進められ、市HPや公式LINEからも行えるようになっており、その種類は今後ますます充実していきます。また、市役所に行った時に個人の基本的な情報を**書かなくても身分証等で申請できる**ことも今後、システム導入を念頭に置いて検討が進められる予定です。

デジタルが苦手な方については、**スマホ教室**が行われていますので、健康福祉部にお問い合わせ下さい。今年度後半は、公民館講座でも行われます。

そして庁内では若手職員によるDXの推進の検討チームの検討も進められます。**マイナンバーカードの公金口座誤登録などについて、現時点では市内で確認されておりません。**ご不安のある方についてはご相談ください。

●オンライン手続きサービス→児童手当等現況届、特定教育施設・保育施設の利用申込、要介護・要支援認定（新規・更新（転入含む）・区分変更）等

他の質問

- ふるさと納税のさらなる成長戦略について→議会だより第90号参照

市民の疑問

Q. 補聴器の費用の支給はありますか？

A. 身体障害者手帳の交付を受けている方に対して行っています。例えば重度難聴用耳かけ型の場合の基準額は、67,300円となっています。

Q. 子ども家庭総合支援拠点（現やすらぎ荘：新旭）はいつできますか？

A. 令和6年1月から開設予定です。子育て家庭が抱える育児への不安など相談支援を包括的に行うとともに「子どもの第三の居場所」の拠点となります。



Q. 公立園の保育士の年齢制限は何歳ですか？

A. 正規職員は、年度の採用状況によって40歳～45歳に設定しています。非正規職員は年齢不問です。

Q. プチワークマッチング高島は、どのような内容ですか？

A. LINE求職者登録をして、自分の空き時間にちょっとした仕事ができる仕組みになっています。例えば、春休み中に倉庫の整理という仕事がありました。

Q. 移住者への支援で若者でなくても対象になるものはありますか？

A. UIターン者がリフォームを行う場合、40歳以上なら補助率1/8（限度額25万円）。40歳以上でも小学校6年生までの子を扶養している場合は1/4（限度額50万円）。